



## フォーラム開催に向けて

2013年3月に開催されました日本薬学会のシンポジウムの成功を契機として、日本及び世界の偽造医薬品に関連する情報分析、偽造対策技術を有する企業、大学からの最新の情報紹介、公的セクター、製薬企業などの偽造医薬品対策の体制の紹介など、オープンに議論する場として一般社団法人・医薬品セキュリティ研究会が立ち上がり、早3年、活動を継続して参りました。4年目となる本年は6月に開催します特別セミナーを挟み本年9月に第四回フォーラムを開催することとなりました。

近年、インターネットの普及に伴い、消費者、患者・医療関係者が偽造医薬品など不正な医薬品にアクセスするリスクが高まっており、日本は例外であり大丈夫という考えを変える時期にきています。不正医薬品は偽造品、盗難品、水増し品など品質が担保できない犯罪性を帯びた医薬品ですが、たとえ正規の医薬品であっても十分な品質管理が行われずに製造・流通している品質不良品がインターネット経由で国境を越えて侵入し、流通するようになってきております。偽造医薬品及び防止技術の情報収集・対策実施などの社内体制の整備、知的財産を守るための税関による水際での摘発、オンラインでの偽造医薬品販売の阻止も含めた国内外の警

察・司法・行政組織との連携、製薬業界団体や国際機関を介した世界レベルでの偽造医薬品情報の収集と調査など、対策立案・遂行のために世界が丸となって多面的で、強力な取り組みを模索しつつ立ち上がっています。

第三回までのフォーラムで偽造医薬品に対する先進的な取り組みを紹介してきましたが、正規品と区別されないよう偽造医薬品そのものの製造技術が急速に巧妙になってきており、従ってそれに対抗する技術及び偽造医薬品を識別しその流通を防ぐ取り組みも同様に日進月歩で改良されてきております。今回は、金沢市中心部に位置し兼六園、金沢城も徒歩圏内のKKRホテル金沢を会場として、「グローバル流通する偽造医薬品との闘い」と題して9月16日（金）に第四回フォーラムを開催いたします。最新の情報を講師の方々にご紹介いただくとともに、日本の税関による水際作戦、更に、アメリカから講師をお招きして世界における偽造医薬品の流通状況の驚くべき実態とその対策について紹介いただくことにしております（通訳付き）。

翌日の土曜日からは連休となりますことから、交通機関、ホテルとも混雑が予想されます。お早目の参加登録及び交通機関などの手配をされますことをお勧めいたします。

医薬品セキュリティ研究会

## PROGRAM

13:00~13:05

開会の挨拶

谷本 剛 /

同志社女子大学薬学部医療薬学科 特任教授

13:05~13:35

講演 1

知的財産調査官 /

『日本の水際対策』

東京税関 業務部 知的財産調査官

13:35~14:05

講演 2

神田 直成 /

『製薬会社の取組み』

アストラゼネカ株式会社 オペレーション本部

14:05~15:05

講演 3

葛生 仁 /

『中国、欧米の防止技術』

株式会社マイクロ・テクニカ代表取締役社長

三原 聡 /

株式会社イリス 次長

15:10~15:25

休 憩

15:25~15:55

講演 4

石山 壘 /

『物体指紋認証技術の開発と真贋判定への応用』

NEC 中央研究所 主任研究員

15:55~17:15

講演 5

Candy Leong /

『グローバル流通の驚異の実態』

Rx-360

17:15~17:20

閉会の挨拶

木村和子 /

金沢大学医薬保健研究域国際保健薬学研究室 教授

17:30~19:30

懇親会

< 3 F 鳳凰の間 >



KKRホテル金沢

〒920-0912 石川県金沢市大手町2-32  
Tel (076)-264-3261[代表]